

平成28年度事業報告書

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

特定非営利活動法人

W a t e r s c a p e

1 事業の成果

ここ数年注力してきた環境教育事業Volvic×Waterscape『お水の教室』の全国展開および地域活動の場や小学校教育の現場での教材の活用と普及に目処が立ち、一定の成果を挙げることができた。それぞれの地域で教材の教育効果を上げること、各地域への定着化を図るため、本年はそれらの活動のフォローアップに専念した。本年度は数量的には目立った活動には取り組んでいないが、教材を活用いただいている各地の地域活動にかかわる地域のリーダーや教育活動従事者、教員らからの意見を集約し、教材の改良について検討した。本年度は、これまでの事業の総括と今後の展開を考えるうえでの準備期間と位置づけ、勉強会や研究会にも取り組んだ。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(単位：円)

事業名	具体的な事業内容	実施日時	実施場所	従業者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額
水環境と調和したライフスタイル、社会システム確立に向けた調査、研究、コーディネート業務	水のワークショッププログラム開発のための調査研究および実践、企業の社会貢献活動のサポート	通年	全国各地	2人	150人	22,000

平成28年度特定非営利に係る事業会計財産目録

平成29年3月31日現在

特定非営利活動法人
Waterscape

(単位：円)

科 目 ・ 摘 要	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	371		
現金	0		
普通預金	371		
流動資産合計 (A)		371	
2 固定資産	0		
固定資産合計 (B)		0	
資産合計 (C) = (A) + (B)			371 ✓
II 負債の部			
1 流動負債	0		
流動負債合計 (D)		0	
2 固定負債	0		
固定負債合計 (E)		0	
負債合計 (F) = (D) + (E)			0 ✓
正味財産 (G) = (C) - (F)			371 ✓

平成28年度特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表

平成29年3月31日現在

特定非営利活動法人
Waterscape

(単位：円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金	371	
現金	0	
普通預金	371	
流動資産合計 (A)		371
2 固定資産	0	
固定資産合計 (B)		0
資産合計 (C) = (A) + (B)		371 ✓
II 負債の部		
1 流動負債	0	
流動負債合計 (D)		0
2 固定負債	0	
固定負債合計 (E)		0
負債合計 (F) = (D) + (E)		0
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産額	1,731 ✓	
当期正味財産増減額	△ 1,360 ✓	
正味財産合計 (G)		371 ✓
負債及び正味財産合計 (H) = (F) + (G)		371 ✓

平成28年度特定非営利活動に係る事業会計収支計算書

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

特定非営利活動法人
Waterscape

(単位：円)

科 目	金 額		
(資金収入の部)			
I 経常収入の部			
1 入会金収入			
入会金収入	0	0	
2 会費収入			
会費収入	12,000	12,000	
3 事業収入			
水環境と調和したライフスタイル、社会システム確立に向けた調査、研究、コーディネート業務収入	8,640	8,640	
4 寄附金収入			
寄附金	0	0	
5 雑入			
受取利息	0	0	
経常収入合計 (A)			20,640 ✓
II 経常支出の部			
1 事業費			
水環境と調和したライフスタイル、社会システム確立に向けた調査、研究、コーディネート業務費	22,000	22,000	
2 管理費			
支払手数料	0	0	
経常支出合計 (B)			22,000 ✓
経常収支差額 (C) = (A) - (B)			△ 1,360 ✓
III その他資金収入の部			
1 固定資産売却収入	0	0	
2 借入金収入			
短期借入金収入	0	0	
その他資金収入合計 (D)			0 ✓
IV その他資金支出の部			
1 固定資産取得支出	0	0	
2 借入金返済支出			
短期借入金返済支出	0	0	
その他資金支出合計 (E)			0 ✓
当期収支額 (F) = (C) + (D) - (E)			△ 1,360 ✓
前期繰越収支差額 (G)			1,731 ✓
次期繰越収支差額 (H) = (F) + (G)			371 ✓
(正味財産増減の部)			
V 正味財産増加の部			
1 資産増加額			
当期収支差額(再掲) (F) (F)が+の場合			
2 負債減少額			
正味財産増加額合計 (I)			
VI 正味財産減少の部			
1 資産減少額			
当期収支差額(再掲) (F) (F)が-の場合	1,360	1,360	
2 負債増加額		0	
正味財産減少額合計 (J)			1,360 ✓
当期正味財産増減額 (K) = (I) - (J)			△ 1,360 ✓
前期繰越正味財産額 (L)			1,731 ✓
当期正味財産合計 (M) = (K) + (L)			371 ✓